

2020年度「自治体職員のためのマーケティングの基本」ブランディング演習課題

本研修ではその後半で演習として、実際の地域資源を取り上げ、そのブランド化計画提案の作成を進めていきます。そしてここで取り上げる地域資源とは、受講される皆さんそれぞれが関心をお持ちのものとしします。

そこで本研修の受講にあたり、事前に、

(1) 地域資源テーマ

まず、本研修で取り上げたい地域資源（製品（農水産物、飲食品、加工品など）あるいはサービス（温泉、博物館、行楽地など）をお考えいただき、地域資源テーマとして決めてください。

その際には、その地域資源を管理している組織・団体を明らかにしてください（例えば、JA鳥取の「砂丘らっきょう」；株式会社さじ式拾壺の「どんでん返し」（どぶろく）；三朝温泉観光協会の「三朝温泉」；智頭町役場の「智頭森林セラピー」）。

またそのテーマとは、認知度や理解度、購買意図、満足度などが不十分で、そのコンセプト（核となるメッセージや便益）が必ずしも明確に定まっていない、あるいは一貫していないという点で、検討の余地のあるものが望ましくあります。

(2) 資源・環境分析

次に、そのテーマについて、その資源とその環境を考え、記述してください。ポイントだけで構いません。

ここで資源とは、その地域資源あるいはそれを扱う先が、持っていて、活用できるようなもので、それにはその開発能力、資産、人材、場所の由来などの伝説などを含みます。

環境とは、その地域資源あるいはそれを扱う先が、持つものではなく、影響を受けるもので、それにはその主要な競合、市場規模・動向、経済状況、顧客の価値観のトレンドなどを含みます。

その調査の際には、その地域資源テーマを検索キーワードとしたオンライン上の各種情報源などを参考にしてください。また添付は、学生による地域ブランディング提案資料です。もちろんここまで細かく分析する必要はありませんが、分析のイメージを掴むのに参考にしてください。

研修時の演習の際に必要なとなりますので、この用紙に各自が記述したものを持参して下さい。

地域資源テーマ：
資源分析：
環境分析：